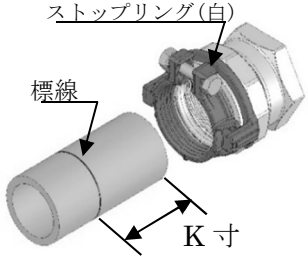
SKX® 施工手順（一般配管用ステンレス鋼管(Su)用）

①パイプ挿入量記入

パイプ挿入量（K 寸）を測り、**標線**を記入して下さい。

分解せずにそのまま**標線**まで挿し込んで下さい。



注 1）・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
・滑剤の塗布は不要です。
・管止めがある場合は、管止めから 3mm 以上あけて施工して下さい。

②キャップ仮締め

本体とキャップを十分手締め（**素手もしくはスベリ止め付グローブで締まらなくなるまで**）した後、マジック等で**マーキング**して下さい。

注 2）・十分な手締め（素手）は 8N･m 程度です。
・十分な手締めは管を引っ張っても抜けない程度
まで締めて下さい。
・手袋使用の場合は、スベリ止め付グローブを使用して下さい

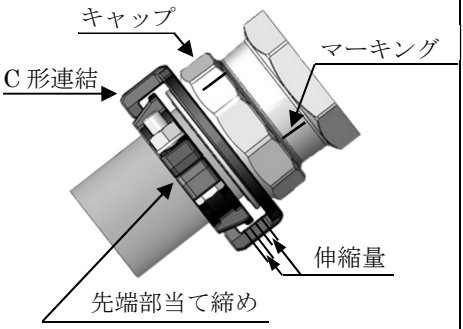
③キャップ本締め

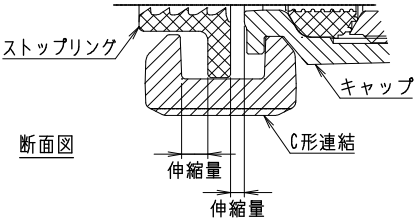
ショートレンチにて**キャップを標準締付回転数（標準締付トルク）**で締め付けて下さい。

③ストップリング本締め

C形連結を中心方向に**押えながら、ストップリングを締めやすい位置**にして下さい。

両端に伸縮量を保った状態で、**ストップリング先端部を当て締め**して下さい。





注 3）当て締め後さらに**締め付けすぎると破損などの不具合**が生じることがあります。

注 4）管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。

注 5）再施工時は再施工手順書に従って下さい。

⑤施工完了・施工手順チェックシートへの記入

キャップとストップリングの**締め忘れのないように確認**を行って下さい。

≪管の取り外し≫

・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを**緩めるだけ**で管と**分離可能です。（分解不要）**

管呼び径	SR呼び径（白）	本体呼び径	K (mm) ＋10/－0	キャップ 十分な手締め後回転数	キャップ 参考締付トルク N･m	ストップリング（参考締付トルク N･m）		六角対辺
20	Su20	16	**50**	**1/4**～3/4	(20)	**当て締め**	(8)	10
25	Su25	Su25	**55**				(10)	
30	Su30	25						
40	Su40	32	**60**				(15)	13
50	Su50	40	**65**	**4/10**～6/10	(40)		(20)	

注）パイプエンドの場合、K 寸は＋5／－0 です。　　※**太字**：下限値

㈱川西水道機器　TEL 087-805-0001（施工コールセンター）
FAX 087-877-2801

2023.01.25